

「自分ごとと化会議 in 東部」 提案書

2024年3月28日

自分ごとと化会議 in 東部 参加者一同

はじめに

私たち「自分ごと化会議 in 東部」のメンバーは、2023年8月から4回にわたって「自分ごと化会議 in 東部」に参加し、「共助・地域コミュニティを強化する手法」をテーマとして、日々の暮らしの中で感じている課題や東部地域の良さ、これから何をしていくのが良いかを話し合いました。

市役所から無作為の市民に送られた案内がたまたま届いたことをきっかけに参加した30人の委員は、ほとんどが初めて顔を合わせる人たちで、住んでいる地区も、仕事も年齢も、お互いの考えも全くわからないところからの話し合いで、はじめはよそよそしく、緊張もしましたが、回を重ねるごとに打ち解け、和気あいあいと、時には熱く議論しました。

人口が減少し、若い世代が少なくなった結果、様々な課題が生じている東部地域ですが、「誰かの動きを待つのではなく、ワクワク感のある活動をどんどん行っていこう」という意見が多く出ました。

象徴的なエピソードが「ドッグラン」です。参加者の一人が「ドッグランをやってみよう」と話したところ、「ドッグランができそうな土地は提供できるかもしれない」、「柵の材料になりそうなものはありそうだ」、「行政への協力依頼を手伝えるかも」など、次々と「自分ができそうなこと」のコメントが出てきました。このような動きを具体的に作っていくことで、ワクワクするような活動が生まれていくのかもしれないと感じることができました。

この提案書は、4ヶ月間にわたって話し合った私たちからの東部地域の未来にむけた提案です。話し合いでは、私たちが実際に直面している暮らしの中の課題を率直に議論しましたが、文字にすると少し“きれいに”まとめ過ぎているかもしれません。

私たちの会議の空気、熱い意見が少しでも伝わるよう委員の「声」を交えて、お届けします。

私たちは、この提案書が「ゴール」だと考えていません。

この提案の実現のためには、行政のみならず、私たち一人ひとりや地域の動きがとても重要です。

この提案書がきっかけとなり、東部地域の様々な場所で、たくさんの議論、アイデア、行動がうまれてほしい。そんな思いでこの提案書をまとめました。

以下の提案は、私たち会議参加者が4回にわたって議論してきたことや、各回で記載した「改善提案シート」の内容を中心にまとめたものです。

テーマ:共助・地域コミュニティを強化する手法

提案 1. 誰かが動くのを待つのではなく、ワクワクする将来が見える活動をつくっていこう

人口は減り続けている中で、活気のある地域にしていくためには、誰かが動くのを待っているだけでは前に進まない。自分たちがワクワクする活動をつくっていくこと、誰かの「やりたい」という思い(ビジョン)が他の人にも伝播し、活動の輪が広がっていくことが重要と言える。強制参加ではなく、自由に積極的に参加したくなるような活動をつくっていこう。

提案 2. コミュニティのあり方について地域単位で「自分ごと化」し、議論できる場をつくろう

東部地域は、地域ごとに特色がある。コミュニティのあり方についてもそれぞれに違いがあるため、より身近で具体的な単位で今後のコミュニティを考える場が必要である。地域単位の「ミニ版自分ごと化会議」を開催し、地域を自分ごととして考える輪を広げていこう。また地域ごとの特色や行事を可視化し、共有するための仕掛けづくりも進めていこう。

提案 3. 既存コミュニティを、今までのあり方にとらわれず本当に必要な機能をゼロベースで見つめ直そう

消防団の議論に象徴されるように、既存コミュニティは、どの機能が必要なのか、今の運営体制のままで良いのかなどについて、ゼロベースで見直すことが必要な時期にあると言える。地域単位の「ミニ版自分ごと化会議」も活用しながら、具体的な状況を把握し、既存コミュニティの見直しを進めていこう。

<会議参加者の声>

- 上手にわかりやすくまとめて進行してくださるので理解しやすかったし、評価や批判をされることがないので安心して発言できた。
- 現実の環境にガチガチに縛られることなく、無理だと思いきまずにやっていける、やっていこうという動機付けにもなったように思う。
- 最初の一步は小さいのにパワーがいるかもしれないが、その一步を踏み出せばいいなと思った。
- 自分が住んでいる地域以外の話を聞くことができよかったです。短時間でもいいので地域ごと、性別ごとに分かれて話す時間があったらよかったです。みんなで集まって意見を出すと少しずつでも新しいことが始められるのではないかという気持ちになり、自分も関わっていきたくて思えた。先頭に立つのは難しいかもしれないが、二番目くらいの立ち位置なら自分にもできるのではないかと思う。
- 自分がきっかけを作った集まりがあるが、一人で引っ張るのも限界があるので最近少し疲れ気味。少し休憩して、これからは自分も楽しむことができるイベントを考えたいと思っている。
- 今年の春から東部地域に住んでいる。何かの縁があってここにきたと思っているので、この地域に対して自分がどのように貢献できるだろうかということを考えている。
- 今回、いろんな人の意見を聞いて、まだまだ伸びしろがすごくある地域だと感じた。子どもや孫と一緒に地域の課題を考えていきたいと思う。
- 70歳になり、この先10年20年とこの地域で生活していくにあたってどんな課題があるだろうかということを考えられればと思ってこの会議に参加した。そういう意味ではもう少し話したかったこともある。過疎化が進み人口が減っていく中で、表に出て動いている人がここ20年ほど変わっておらず、集まりに参加してもいつも見る顔しか見ない。しかし、この会議では、普段話すことのない若い世代の方と話をすることができて驚くことがたくさんあった。
- みんなで話し合いをする中で、一步でも何か踏み出すことができればみんなで力を合わせて進めていけるのではないかという勇気をもらった。自分の父親は地域の多くのイベントなどの発起人になっていた。自分もそろそろその思いを引き継がないといけないなと思いながら会議に参加していた。
- 私の中では、今回の会議に参加したことが一步を踏み出したということだと思っている。ドッグランを実現しましょう。
- 月ヶ瀬でも会議があったということは気にしていた。皆さんとこうしてお会いできたことが私にとっての最大の宝だと思っている。

提案

1. 誰かが動くのを待つのではなく、
ワクワクする将来が見える活動をつくっていこう

「提案1」の実現に向けて、それぞれが行うべきこと

○強制参加ではない、ワクワク感のある活動をつくろう

私たち 市民	<ul style="list-style-type: none">① 花見や稲刈りのあとの集まり、蛍を見るなどの小さなことからでもアクションを起こす、イベントを考える② 若い人など違う世代の人の話を聞いて、いろいろな考えを受け入れる③ 楽しく暮らす日常を保つ④ 自分も動けるために時間を確保する⑤ 自分がやってみたいことを表明し、共感してくれる人を探す⑥ みんなが集まる活動にすすんで参加を呼びかける
地域	<ul style="list-style-type: none">① スマホの勉強会やラジオ体操のグループなど共通で楽しめることをきっかけに、地域の困りごとを明らかにして情報を共有する② 行事などの歴史、エピソード、面白さを共有する③ 「さかさま不動産」ならぬ「さかさま婚活」をやってみる④ コロナでいろいろな活動やコミュニティが廃れたが、これからは新しい活動やコミュニティを作っていくとき⑤ 義務だとしんどいので楽しいと思える、わくわくできる活動、環境をつくる⑥ 地域への誇り、愛着を育てる⑦ リーダーではなく、意義やビジョンに人は集まるので、わくわくするような共通のビジョンをつくる⑧ 東部地域全体で若者を巻き込みながら連携してイベントを実施、発信する⑨ なくなってしまったコミュニティを自治会に引き受けてもらう⑩ 一人ひとりの「やりたいこと発表会」を実施する⑪ 自由な活動を実施するための場所を提供する
行政	<ul style="list-style-type: none">① 地域がビジョンをつくることを支援する② 自由な活動に活用できるよう行政施設の使い方やルールを柔軟にする
その他	<ul style="list-style-type: none">① 起業家、ソーシャル人材など外部人材を取り入れることが大事② ドッグランを作る（犬を飼っているので愛犬家と知り合いたい、犬にも友達ができればいい、整備に人手がいるようであれば手伝いたい）③ ひまつぶしの増加、趣味の多様化、得られる情報量の多さなどから時間の価値は昔よりも上がっているため、それを前提に考える必要がある④ 若い人にとって意義や面白さがある活動を行うことが大事

○地域の魅力をつくり、発信しよう

私たち 市民

- ① 「さかさま不動産」のような事業のために、空き家所有者に協力を募る
- ② 地域の人たちに声をかける
- ③ 個人でもできる情報発信をする
- ④ 地域を訪れてもらうために何か企画してみる
- ⑤ 歴史、文化、自然などの資源を活かして、表現しようとする仲間を募る

地域

- ① 聖地巡礼の観光客を取り込む
- ② 原風景をイベントに活用する
- ③ 野菜づくり体験、地域ツアーなど、地域の魅力を知ってもらう活動を行う
- ④ 外から人に来てもらうための接点、きっかけをつくる
- ⑤ 様々な企画に協力してもらう
- ⑥ より大きな動きにつながるよう行政に働きかける
- ⑦ 「さかさま不動産」のような事業を自分たちで立ち上げる
- ⑧ 地域を動かすメンバーを集めていく

行政

- ① 観光のための施設（温泉、ゴルフ場など）を整備する
- ② 映画やアニメの舞台に推薦する
- ③ 空き家バンクなど、積極的に住民に周知する
- ④ スタンプラリーの実施
- ⑤ 市と県で連携してイベントを実施する
- ⑥ 若い人が集まる施設の誘致（学校やスポーツ施設）
- ⑦ リピーターを獲得するための仕組みづくり
- ⑧ 東部地域にクリーンセンターを移転しない
- ⑨ 観光施設をつくる、クリーンセンター移転
- ⑩ 地域資源を活かしたサービス展開のために旅行会社などに働きかける
- ⑪ 働きながら地域の魅力を知ってもらえるワークスペースをつくる
- ⑫ 関係人口、移住者を増やすための取り組みを行う

その他

- ① 東部地域の良さを世界に向けて発信していくこともできる

提案

2. コミュニティのあり方について地域単位で「自分ごと化」し、議論できる場をつくろう

「提案2」の実現に向けて、それぞれが行うべきこと

○コミュニティのあり方について地域単位で具体的に議論する「ミニ版自分ごと化会議」をつくろう

私たち

- ① 地域単位の「ミニ版自分ごと化会議」に参加する
- ② 持続可能なコミュニティ（東部 SDGs）となるために多様性を受け入れる
- ③ 参加したい人を少しずつ集めて多くの人に参加できるグループにする

市民

- ① 東部地域全体ではなく、具体的な話ができる程度の規模ごとにミニ版の自分ごと化会議を開催する

地域

- ② 自治会のあり方など具体的な課題や解決策をデータでまとめる
- ③ 世代ごと、地域ごとに行っていること（行事など）を整理し話し合う
- ④ 地域で行ってきた行事などの歴史、エピソード、面白さを共有する
- ⑤ 地域行事やそれぞれの地域の取り組みを共有して自分たちの地域で自分ごととして考えてもらい、これからどうしていくかという意識を変える

行政

- ① ミニ版の自分ごと化会議で明らかになったことをそれぞれの地域で認識してもらい、新しい仕組み、ルールをつくっていく
- ② 空き校舎や公民館を活用、提供する

その他

- ① 自治会は今の時代のあり方とマッチしていない
- ② リーダーを決めて枠にはめられることへの嫌悪感があるのではないか
- ③ ラジオ体操などの年齢の枠を越えた集まりが懐かしい
- ④ 高齢者の力が強い現状がある

○地域内の情報共有を進めよう

- | | |
|-------------------|---|
| 私たち
市民 | ① 情報を自分から集めることを習慣化する |
| | ② 住民参加型ポータルサイトができれば情報発信に参加する（各グループにおける活動ごとの公式サイトなど小規模なものから） |
| | ③ 若い世代の声を聞く意識をもつ |
| 地域 | ① 祭りや公民館イベントなど、LINE やメールを活用して地域情報を共有する |
| | ② ごみ置き場に張り紙をすることで効果的に周知する |
| | ③ 地域の行事や課題を整理して可視化し、いるものいないもの、今後のあり方などをアンケートで意見交換する |
| 行政 | ① 東部だよりを PDF でダウンロードできるようにする |
| | ② 東部だよりなど紙媒体の情報誌も活用する |
| | ③ 住民が発信できる東部地域のポータルサイトをつくる |
| その他 | ① 東部地域のポータルサイトをつくるにもお金が必要 |
| | ② 東部地域から市街地に出ていった子どもに対するアンケートを実施し、なぜ出ていったのか、どうしたら戻ってこられるのか考える |

提案

3. 既存コミュニティを、今までのあり方にとらわれず本当に必要な機能をゼロベースで見つめ直そう

「提案3」の実現に向けて、それぞれが行うべきこと

○消防団をはじめとする既存コミュニティの見直しが必要

**私たち
市民**

- ① 一人ひとりの防災意識を高めるとともに火災、消火についての知識を深める
- ② 非消防団員も消火に協力する（2023年4月から、地域支援消防分団という体制ができており、登録しておくことで消火活動に参加できる）
- ③ 野焼きをしない、見つけたら注意する
- ④ その土地特有の事情を知っていたらサポートする

地域

- ① 今までの消防団の役割を話し合う
- ② 消防団はいらないという意見もあるので、そもそも必要かどうかから検討する
- ③ 今の消防団のあり方にとらわれずに、消防署とのつながりなど消防団の核となる部分は残したまま、住民全体が参加できる体制に変えていく
- ④ 消防団と自治会との連携が必要（消防団の広域化も視野に入れる）
- ⑤ 自治会で今後の消防団のあり方を話し合う
- ⑥ 消防団が必要な場合は、団員を集める方法を検討する
- ⑦ 野焼きについて自治会、消防団からも注意喚起する

行政

- ① 警察の駐在所が見回りを強化する
- ② 消防局が地域の現状を知る
- ③ 消防団の現状を把握し、現状に沿った組織、本当に効果が出る組織について自治会とともに話し合って新しい形を作り出す
- ④ 地域コミュニティの単位、枠組みを変えるための支援をする

その他

- ① 責任ある活動には対価が必要ではないか
- ② このままでは本来あるべき地域の消防団の機能の維持ができないことを市も住民も自分ごと化するべき

≪その他、議論の中で出た課題≫

- 人口が減り続けていっている現状を変えていきたい
- 子育て世代に厳しい環境なことも若い人たちが出て行ってしまいう要因になっているのではないか(塾などの子どもの学習環境やその送迎)
- バスなどの移動手段が減ることにより、自分で移動ができない人が買い物、通院などの場面で困る(コンビニなどの誘致が必要)ため、乗合タクシーを認可する
- 魅力的な働く場がないと若い人たちが東部から出て行ってしまいうので、農業の魅力化や工場誘致が必要
- 道路や河川などの生活環境をより良くすることが必要
- 農協旧マーケット店舗の活用

自分ごと化会議 in 東部の概要

2023年8月から、“共助・地域コミュニティを強化する手法”をテーマに、無作為に選ばれた住民による議論を行いました。

○ 委員

無作為に抽出し協議会委員の案内を送付した数・・・700件
東部在住の高校生・・・66名

応募した委員(応募率)・・・26名(3.4%)

上記とは別に令和4年度の月ヶ瀬での自分ごと化会議委員に直接声かけを行い4名が参加。合計30名の委員で実施。※4名は応募率には含まない。

○テーマ及び各回の議論

テーマ:「共助・地域コミュニティを強化する手法」について

各回の議論

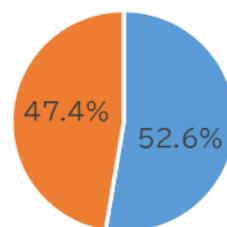
- ・第1回会議:2023年8月19日(土)
Local Coop 構想について(Next Commons Lab)
自分ごと化会議の概要説明(構想日本)
奈良市の東部地域について(奈良市東部出張所)
委員の自己紹介 など
- ・第2回会議:2023年9月10日(日)
テーマについてグループに分かれて協議
「改善提案シート」の記入 など
- ・第3回会議:2023年10月28日(土)
ナビゲーターの参加
テーマについてグループに分かれて協議
「改善提案シート」の記入 など
- ・第4回会議:2023年11月26日(日)
「提案書(案)」について全体で議論
「意見提出シート」の記入 など

第1回自分ごと化会議 in 東部 参加者アンケート結果

2023年8月19日実施
回答者:19人(回答率100%)

性別

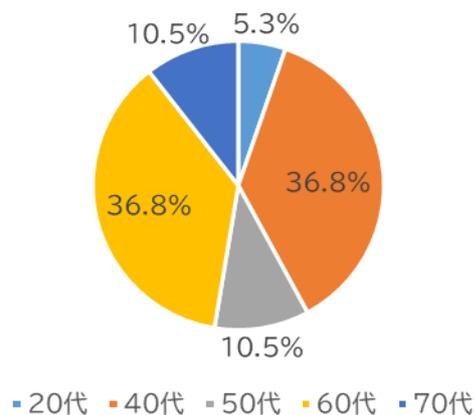
回答	件数	割合
男性	10	52.6%
女性	9	47.4%
無回答	0	0%
合計	19	100%



■男性 ■女性

年齢

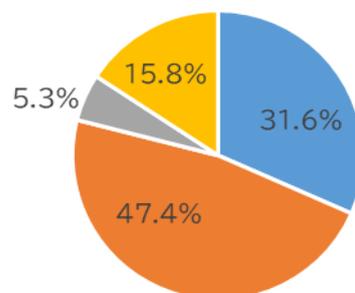
回答	件数	割合
10代	0	0%
20代	1	5.3%
30代	0	0%
40代	7	36.8%
50代	2	10.5%
60代	7	36.8%
70代	2	10.5%
80代以上	0	0%
無回答	0	0%
合計	19	100%



■20代 ■40代 ■50代 ■60代 ■70代

地区

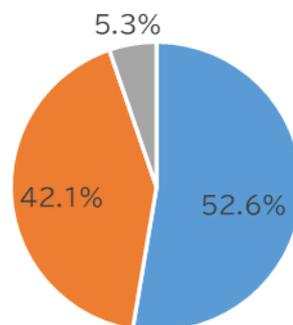
回答	件数	割合
田原地区	6	31.6%
柳生地区	9	47.4%
大柳生地区	1	5.3%
東里地区	3	15.8%
狭川地区	0	0%
その他	0	0%
無回答	0	0%
合計	19	100%



■田原地区 ■柳生地区 ■大柳生地区 ■東里地区

1.第1回会議に参加していかがでしたか。

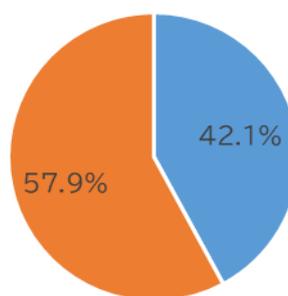
回答	件数	割合
とても良かった	10	52.6%
良かった	8	42.1%
どちらでもない	0	0%
あまり良くなかった	1	5.3%
良くなかった	0	0%
無回答	0	0%
合計	19	100%



■とても良かった ■良かった ■あまり良くなかった

2.テーマについて理解できましたか。

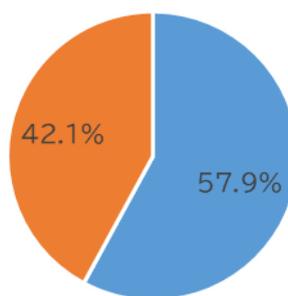
回答	件数	割合
とても理解できた	8	42.1%
理解できた	11	57.9%
どちらでもない	0	0%
あまり理解できなかった	0	0%
理解できなかった	0	0%
無回答	0	0%
合計	19	100%



■とても理解できた ■理解できた

3.コーディネーターの進行は分かりやすかったですか。

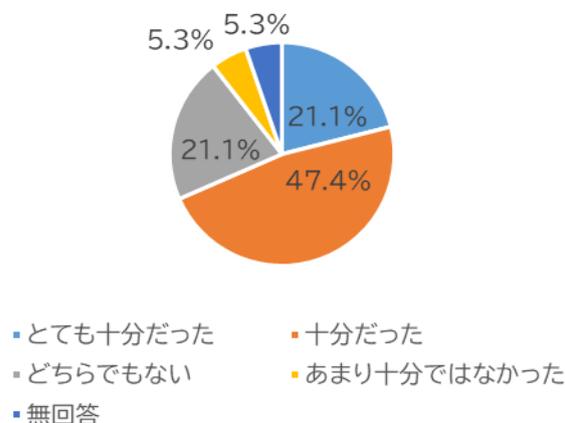
回答	件数	割合
とても分かりやすかった	11	57.9%
分かりやすかった	9	42.1%
どちらでもない	0	0%
分かりにくかった	0	0%
とても分かりにくかった	0	0%
無回答	0	0%
合計	19	100%



■とても分かりやすかった ■分かりやすかった

4.話す時間は十分でしたか。

回答	件数	割合
とても十分だった	4	21.1%
十分だった	9	47.4%
どちらでもない	4	21.1%
あまり十分ではなかった	1	5.3%
十分ではなかった	0	0%
無回答	1	5.3%
合計	19	100%



5.会議に参加しようと思った理由は何ですか。(抜粋)

- 柳生に諸々関わっている為。
- 前回参加致しましたので。
- 地域におけるコミュニティの維持、文化等の承継、高齢者の生活の維持に強い不安を感じるの。
- 去年の反省を生かそうと思って。
- 奈良市東部山間地区の街づくりを 30 数年間携わり今後の街づくりについて参考にするため。
- 自己研鑽。
- 昨年の月ヶ瀬の自分ごと化会議に参加させていただいて東部での開催を願っていましたが実現してよかったと思っています。この会議の成果が必ず行政、企業の協力が出ることを願い参加しました。
- 今後一つでも課題が解消できたらいいと思う
- これも何かの縁だと思い、自分でも地域のために役立つならと思。
- 子育て世代の意見が言えたらと思って。
- 選考いただいたことで、この機会で皆さんの考えを把握したかった。
- 地域がよくなっていけたら。自分の経験が何か役に立てたらと思。
- もっとすみよい地域になる事を願って。
- 住んでいる地域の事なので、とりあえずどんな事を話されるのか、どんな事をしようとしているのかを確かめたいと思ったの。
- 東部地域で住み続けていくために意見をだしてよりよい地域にでき、住みやすくなれるといいなと思。
- 役に立てればと思参加しました。
- 耕作放棄をどうすればいいのかみんなの意見が聞きたかった。
- はじめてのことがすきなので。

6.次回以降に向けての要望や今日の感想など、ご自由に記入してください。

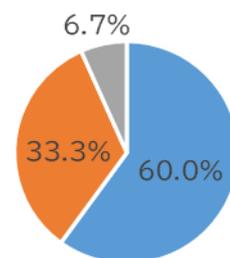
- 時間的に週末の昼は難しく、オンラインでの参加含め検討してほしいです。
- 予定が付けば、できるだけ参加したいです。本日は、仕事で終わりまで話しが聞けず残念です。
- 発言は自由でよいが、1人1回当たりの発言時間を決めておくことをルール化してはいかがでしょうか。
- 話をもっと簡潔に、面白くしようと思う。
- 市長の公約であった「西の軽井沢」にするためには、何をすべきなのか市長の考えを聞きたい。若者が住み続ける環境をつくるのは一番の課題と考えるのでよろしく。
- 空家対策について学びたい。耕作放棄の田畑対策について。多くの課題が出されてよかった。田舎が好きな若者も今は多い。その世代をどのようにして田舎に積極的にきてもらえるかを探っていきたい。
- 辛口の意見がもう少し出た方がよいと思う。
- メンバーの抽出方法が年代別の無作為でも良かったのかなあと思います。
- 課題問題点を解決できる会議にしてほしい。
- これからもよろしくお願いします。
- きょうの話をどの様に先につなげていけるのか楽しみです。

第2回自分ごと化会議 in 東部 参加者アンケート結果

2023年9月10日実施
回答者:15人(回答率88.2%)

性別

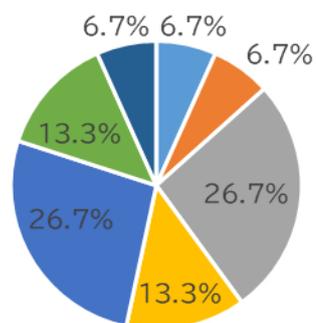
回答	件数	割合
男性	9	60.0%
女性	5	33.3%
無回答	1	6.7%
合計	15	100%



■男性 ■女性 ■無回答

年齢

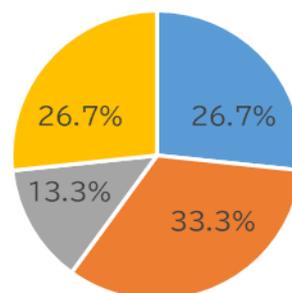
回答	件数	割合
10代	0	0%
20代	1	6.7%
30代	1	6.7%
40代	4	26.7%
50代	2	13.3%
60代	4	26.7%
70代	2	13.3%
80代以上	1	6.7%
無回答	0	0%
合計	15	100%



■20代 ■30代 ■40代 ■50代 ■60代 ■70代 ■80代以上

地区

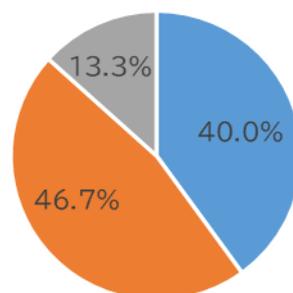
回答	件数	割合
田原地区	4	26.7%
柳生地区	5	33.3%
大柳生地区	2	13.3%
東里地区	4	26.7%
狭川地区	0	0%
その他	0	0%
無回答	0	0%
合計	15	100%



■田原地区 ■柳生地区 ■大柳生地区 ■東里地区

1.第2回会議に参加していかがでしたか。

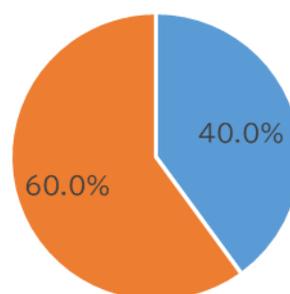
回答	件数	割合
とても良かった	6	40.0%
良かった	7	46.7%
どちらでもない	2	13.3%
あまり良くなかった	0	0%
良くなかった	0	0%
無回答	0	0%
合計	15	100%



■とても良かった ■良かった ■どちらでもない

2.テーマについて理解できましたか。

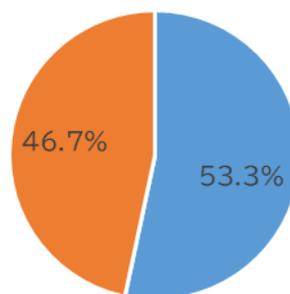
回答	件数	割合
とても理解できた	6	40.0%
理解できた	9	60.0%
どちらでもない	0	0%
あまり理解できなかった	0	0%
理解できなかった	0	0%
無回答	0	0%
合計	15	100%



■とても理解できた ■理解できた

3.コーディネーターの進行は分かりやすかったですか。

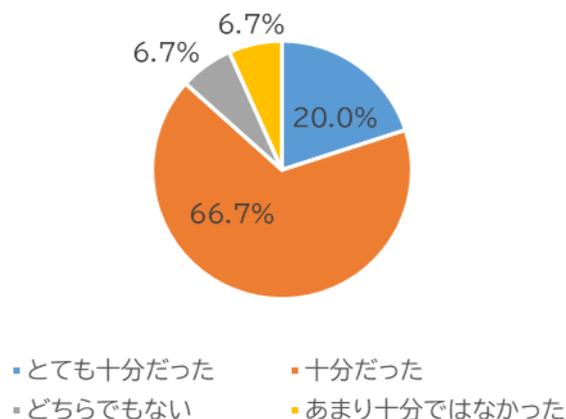
回答	件数	割合
とても分かりやすかった	8	53.3%
分かりやすかった	7	46.7%
どちらでもない	0	0%
分かりにくかった	0	0%
とても分かりにくかった	0	0%
無回答	0	0%
合計	15	100%



■とても分かりやすかった ■分かりやすかった

4.話す時間は十分でしたか。

回答	件数	割合
とても十分だった	3	20.0%
十分だった	10	66.7%
どちらでもない	1	6.7%
あまり十分ではなかった	1	6.7%
十分ではなかった	0	0%
無回答	0	0%
合計	15	100%



5.次回以降に向けての要望や今日の感想など、ご自由に記入してください。(抜粋)

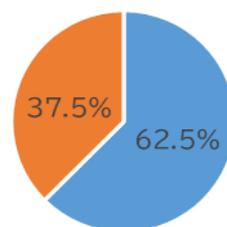
- グループの話し合いの中で自分の住んでいる所があまりすきではないのかなあと少しさみしく思いました。本当にむつかしい事なんだあと思いました。
- 大和高原のくらし、歴史、課題が見えてくるって大事なんだなと感じさせていただきました。
- 会場に部屋がたくさんあるのなら話し合いのときはチームごとに別れては？今回は少ないのであまりごっちゃになりませんでした。前の月ヶ瀬の1回目はうるさすぎてしんどかった。
- 楽しかったです。問題解決はまだまだ先ですが。
- とても有意義でした。ありがとうございました。
- 良い刺激を受けて今まで以上に視野が広がった。次回の参加も楽しみです。
- 関西の軽井沢にするという市長の意気込みを聞かせてほしい。優良田園住宅を利用して別荘地が出来る法的整備をしてほしい。
- 世代間のギャップを痛感した。まだ残念ながら次へのアクションが見えてこない。

第3回自分ごと化会議 in 東部 参加者アンケート結果

2023年10月28日実施
回答者:8人(回答率88.9%)

性別

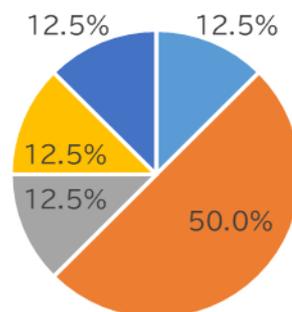
回答	件数	割合
男性	5	62.5%
女性	3	37.5%
無回答	0	0%
合計	8	100%



■男性 ■女性

年齢

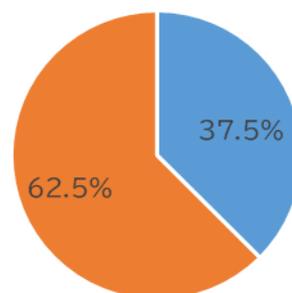
回答	件数	割合
10代	0	0%
20代	0	0%
30代	1	12.5%
40代	4	50.0%
50代	1	12.5%
60代	1	12.5%
70代	1	12.5%
80代以上	0	0%
無回答	0	0%
合計	8	100%



■30代 ■40代 ■50代 ■60代 ■70代

地区

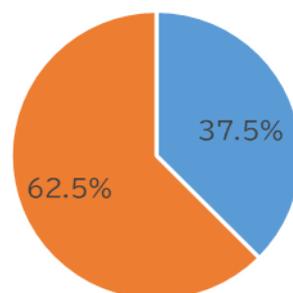
回答	件数	割合
田原地区	0	0%
柳生地区	3	37.5%
大柳生地区	0	0%
東里地区	0	0%
狭川地区	0	0%
その他	0	0%
無回答	5	62.5%
合計	8	100%



■柳生地区 ■無回答

1.第3回会議に参加していかがでしたか。

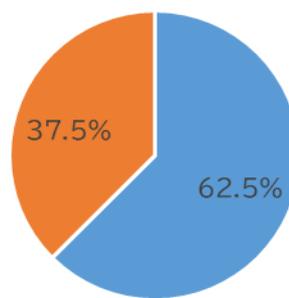
回答	件数	割合
とても良かった	3	37.5%
良かった	5	62.5%
どちらでもない	0	0%
あまり良くなかった	0	0%
良くなかった	0	0%
無回答	0	0%
合計	8	100%



■とても良かった ■良かった

2.テーマについて理解できましたか。

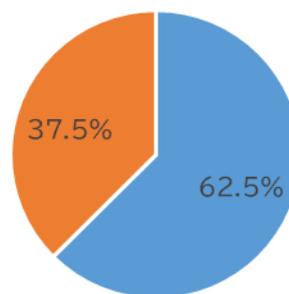
回答	件数	割合
とても理解できた	5	62.5%
理解できた	3	37.5%
どちらでもない	0	0%
あまり理解できなかった	0	0%
理解できなかった	0	0%
無回答	0	0%
合計	8	100%



■とても理解できた ■理解できた

3.コーディネーターの進行は分かりやすかったですか。

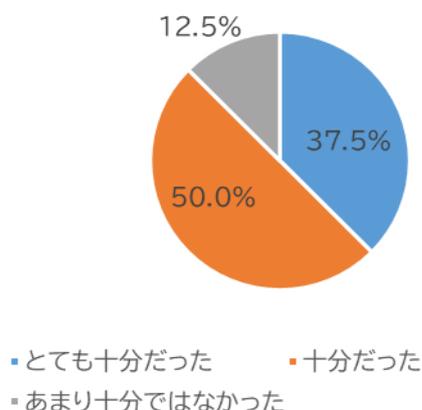
回答	件数	割合
とても分かりやすかった	5	62.5%
分かりやすかった	3	37.5%
どちらでもない	0	0%
分かりにくかった	0	0%
とても分かりにくかった	0	0%
無回答	0	0%
合計	8	100%



■とても分かりやすかった ■分かりやすかった

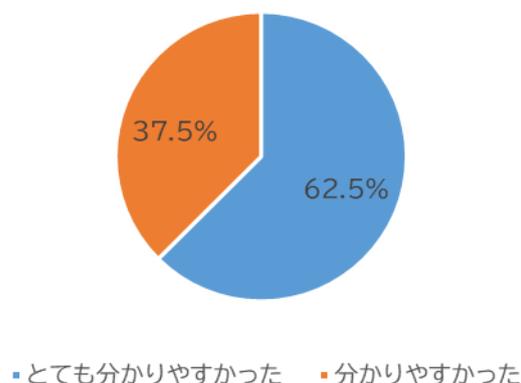
4.話す時間は十分でしたか。

回答	件数	割合
とても十分だった	3	37.5%
十分だった	4	50.0%
どちらでもない	0	0%
あまり十分ではなかった	1	12.5%
十分ではなかった	0	0%
無回答	0	0%
合計	8	100%



5. ナビゲーター(水谷氏)の話は分かりやすかったですか。

回答	件数	割合
とても分かりやすかった	5	62.5%
分かりやすかった	3	37.5%
どちらでもない	0	0%
分かりにくかった	0	0%
とても分かりにくかった	0	0%
無回答	0	0%
合計	8	100%



6.ナビゲーターの話を聞いて、新たな発見や気づきがあれば記入してください。

- 多くのことに気付かされました。さかさま不動産、水谷さんのお話は大変良かったです。
- 誰がやる問題。
- 公園の事例が非常に興味深かったです。
- 逆の発想は大切。
- 視点・切り口の違う発想からの展開。

7.次回以降に向けての要望や今日の感想など、ご自由に記入してください。(抜粋)

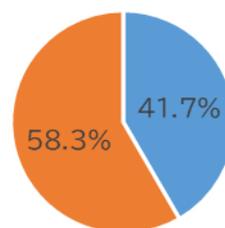
- 会議での決定等を土台として成果として何かが出来るようにしたいと思います。
- チーム化 方向性 プレゼン大会はあり。

第4回自分ごと化会議 in 東部 参加者アンケート結果

2023年11月26日実施
回答者:12人(回答率100%)

性別

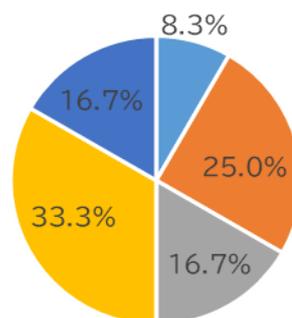
回答	件数	割合
男性	5	41.7%
女性	7	58.3%
無回答	0	0%
合計	12	100%



■男性 ■女性

年齢

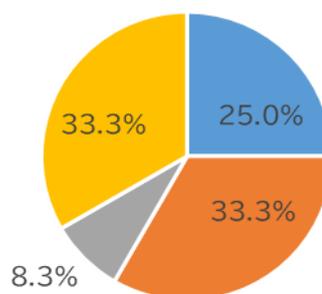
回答	件数	割合
10代	0	0%
20代	0	0%
30代	1	8.3%
40代	3	25.0%
50代	2	16.7%
60代	4	33.3%
70代	2	16.7%
80代以上	0	0%
無回答	0	0%
合計	12	100%



■30代 ■40代 ■50代 ■60代 ■70代

地区

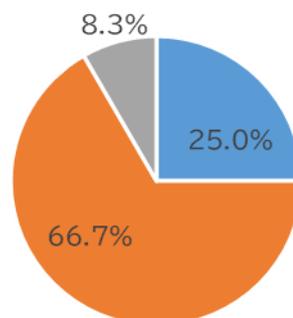
回答	件数	割合
田原地区	3	25.0%
柳生地区	4	33.3%
大柳生地区	1	8.3%
東里地区	4	33.3%
狭川地区	0	0%
その他	0	0%
無回答	0	0%
合計	12	100%



■田原地区 ■柳生地区 ■大柳生地区 ■東里地区

1.第4回会議に参加していかがでしたか。

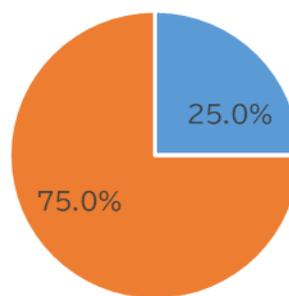
回答	件数	割合
とても良かった	3	25.0%
良かった	8	66.7%
どちらでもない	1	8.3%
あまり良くなかった	0	0%
良くなかった	0	0%
無回答	0	0%
合計	12	100%



■とても良かった ■良かった ■どちらでもない

2.コーディネーターの進行は分かりやすかったですか。

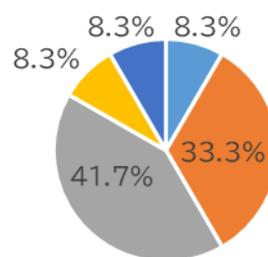
回答	件数	割合
とても分かりやすかった	3	25.0%
分かりやすかった	9	75.0%
どちらでもない	0	0%
分かりにくかった	0	0%
とても分かりにくかった	0	0%
無回答	0	0%
合計	12	100%



■とても分かりやすかった ■分かりやすかった

3.話す時間は十分でしたか。

回答	件数	割合
とても十分だった	1	8.3%
十分だった	4	33.3%
どちらでもない	5	41.7%
あまり十分ではなかった	1	8.3%
十分ではなかった	0	0%
無回答	1	8.3%
合計	12	100%



■とても十分だった ■十分だった
 ■どちらでもない ■あまり十分ではなかった
 ■無回答

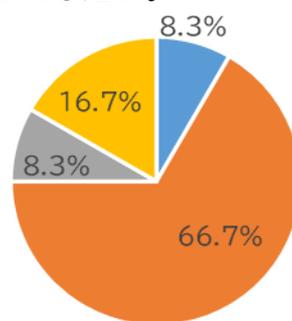
4.今日の感想など、ご自由に記入してください。

- ・ ミニ自分ごと化会議をどのように行うかが課題
- ・ コミュニティの重要性を再確認できた。
- ・ 取り組み方のすばらしい人2名、ドッグランの方、東里で自分ごと化会議を行った方すばらしいです。

- 今回に限らずですが、上手に分かりやすくまとめて進行して下さるので、理解しやすかったし、評価や批判をされることがないので、安心して発言できた。まとめもして下さるので結があってよかった。現実の環境にがちがちにしばられず、無理だと思いき込みしないでやっていける。やっていこうという動機付けにもなったように思います。ありがとうございました。
- 4回の会議の中で2回しか参加できず申し訳なかったと思っています。最初の一步は小さいけれど、パワーがいる事かもしれませんが、その一步を踏み出せばいいなと思いました。
- 提案についての話しをする時間が少なく、個人の方の今置かれている状況を聞く事で話し合いの時間が終わってしまいました。切実な思いで話しをされているのは伝わりました。自治会単位での「自分ごと化会議」を開かれる事が必要だと思いましたが、きっかけを作ることの難しさも感じました。
- 色々な人達と話をすることで(ミニ自分ごと化会議)地域の意識改革ができればと思います。
- 裏座談会やりたい。笑 本当はどう思っていたのかとか、気になる事有りすぎるから田中さんよろしく。
- 「その他議論の中で出た話題」一つ一つ検討して行ってほしい。テーマパーク地域総合整備計画(奈良市、奈良県)策定 現状に合わせて策定・具体化して行ってほしい。

5.全体を通して、自分ごと化会議に参加していかがでしたか。

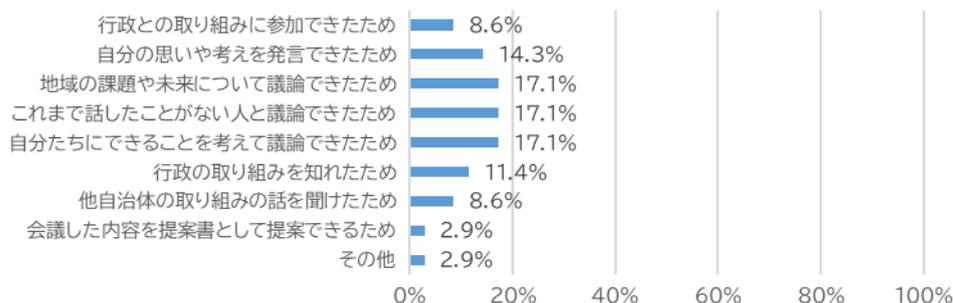
回答	件数	割合
とても良かった	1	8.3%
良かった	8	66.7%
どちらでもない	1	8.3%
あまり良くなかった	0	0%
良くなかった	0	0%
無回答	2	16.7%
合計	12	100%



■とても良かった ■良かった ■どちらでもない ■無回答

6.質問 5.で「とても良かった」「良かった」と回答した方に伺います。その理由を教えてください。(複数回答可)

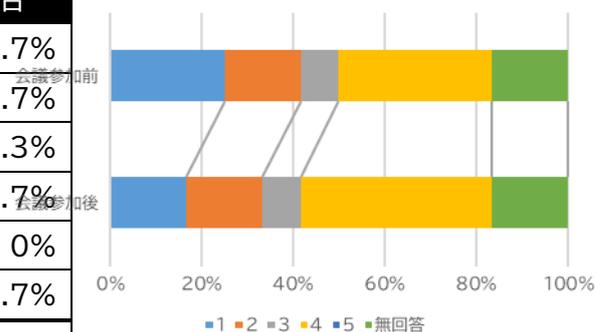
回答	件数	割合
行政との取り組みに参加できたため	3	8.6%
自分の思いや考えを発言できたため	5	14.3%
地域の課題や未来について議論できたため	6	17.1%
これまで話したことがない人と議論できたため	6	17.1%
自分たちにできることを考えて議論できたため	6	17.1%
行政の取り組みを知れたため	4	11.4%
他自治体の取り組みの話を聞いたため	3	8.6%
会議した内容を提案書として提案できるため	1	2.9%
その他(まとめが文章化された事が良かった)	1	2.9%



7.以下の項目について、自分ごと化会議に参加した前後で変化はありましたか。

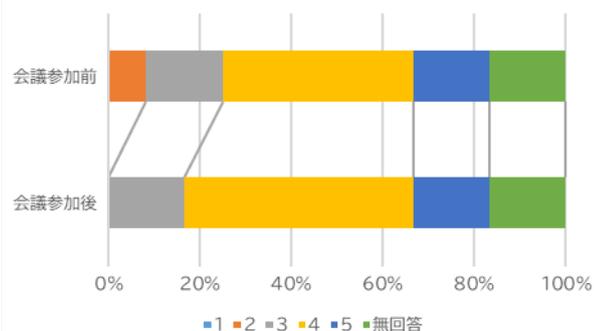
i)自治会やボランティアなど、地域づくりに関わる集まりに参加する頻度

回答	会議参加前		会議参加後	
	件数	割合	件数	割合
1 低い	3	25.0%	2	16.7%
2	2	16.7%	2	16.7%
3	1	8.3%	1	8.3%
4	4	33.3%	5	41.7%
5 高い	0	0.0%	0	0%
無回答	2	16.7%	2	16.7%
合計	12	100.0%	12	100%



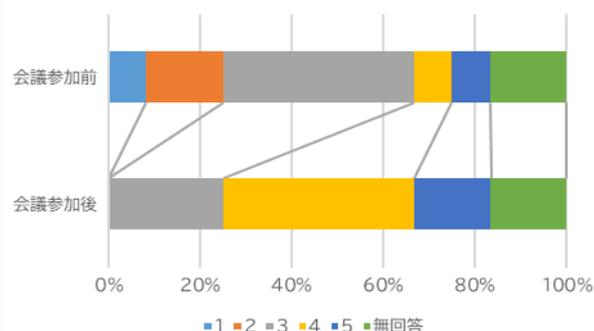
ii)自分の住む地域への関心

回答	会議参加前		会議参加後	
	件数	割合	件数	割合
1 低い	0	0%	0	0%
2	1	8.3%	0	0%
3	2	16.7%	2	16.7%
4	5	41.7%	6	50.0%
5 高い	2	16.7%	2	16.7%
無回答	2	16.7%	2	16.7%
合計	12	100%	12	100%



iii)地域コミュニティの醸成に向け、自らも何かしようと思いましたか(自分ごと化)

回答	会議参加前		会議参加後	
	件数	割合	件数	割合
1 低い	1	8.3%	0	0%
2	2	16.7%	0	0%
3	5	41.7%	3	25.0%
4	1	8.3%	5	41.7%
5 高い	1	8.3%	2	16.7%
無回答	2	16.7%	2	16.7%
合計	12	100%	12	100%

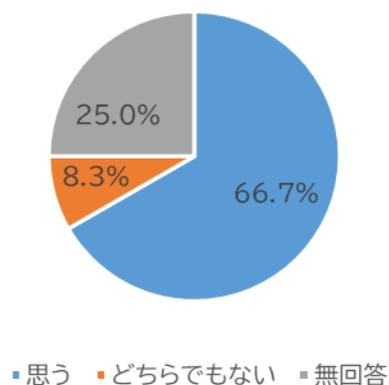


8.質問 7.以外に、自分ごと化会議に参加して、意識や行動の変化があったことなどがあれば教えてください。

- ついつい、話中に一言発言してしまう。で、女は出しゃばるなど言われます。
- 自分ごと化を意識するようになった。行動まではまだ変化していないが、何かのきっかけがあれば行動するのではないかと思われる。
- 年齢が違う人の意見、考え方も違うので何かをやってみようかと思う意欲が出てきたり、いや、やっぱりやめておこうかなと思う考えも出てくる。
- 考え方が違う、埋めがたい相違点は大きいと思った⇒やれる事を他人には頼らず粛々とすべしと決意した。

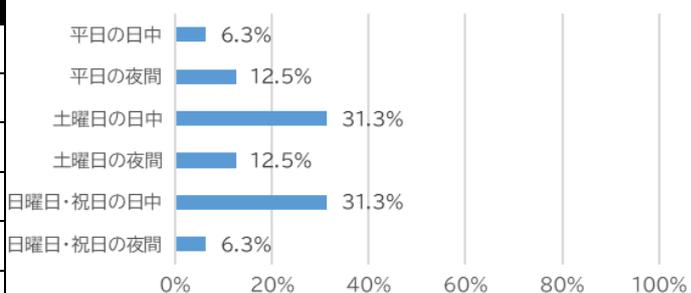
9. 今後、自分ごと化会議のように、住民同士で地域課題について議論・意見交換し、提案できる場があれば参加したいと思いますか。

回答	件数	割合
とても思う	0	0%
思う	8	66.7%
どちらでもない	1	8.3%
あまり思わない	0	0%
思わない	0	0%
無回答	3	25.0%
合計	12	100%



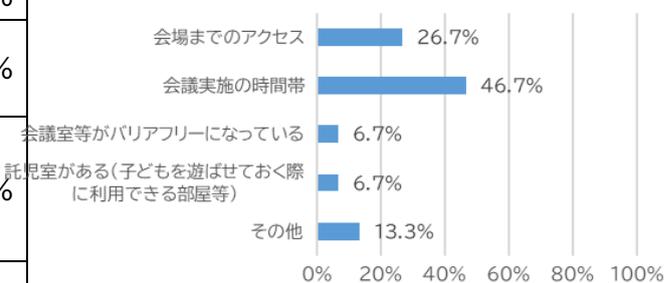
10. 今後、自分ごと化会議のような場に参加するには、どの時間帯が良いと思いますか。(複数回答可)

回答	件数	割合
平日の日中	1	6.3%
平日の夜間	2	12.5%
土曜日の日中	5	31.3%
土曜日の夜間	2	12.5%
日曜日・祝日の日中	5	31.3%
日曜日・祝日の夜間	1	6.3%



11. 自分ごと化会議のような場に参加する場合、配慮してほしいことがあれば教えてください。(複数回答可)

回答	件数	割合
会場までのアクセス	4	26.7%
会議実施の時間帯	7	46.7%
会議室等がバリアフリーになっている	1	6.7%
託児室がある(子どもを遊ばせておく際に利用できる部屋等)	1	6.7%
保育士等がいて会議中に預かってもらえる	0	0%
その他	2	13.3%



「その他」の内容

- 私自身の事ですが、階段が大変なんです。足が悪くて時間がかかります。
- 階段が多くな、会場までの距離がない場所が良い。

12.今回は「共助・地域コミュニティを強化する手法について」をテーマに議論しましたが、他に議論・意見交換したいテーマがあれば教えてください。(抜粋)

- 交流会的な感じのもっと軽めのミーティング(将来)共助・地域をどうするか?というグランドデザインはコンセプトがあまりに大きすぎるし、同好会、なにかのワークショップなんかから始めたほうがいいかな。

13.全体を通じた感想やコメント、また、今回の自分ごと化会議で伝えられなかったことなど、ご自由に記入してください。

- 参加してよかったです。
- 地域の行事に政治色を出さないでほしい。
- この会議では本音を話せるので安心です。この会議で学んだ事が自分の町では生かし切れないもどかしさがありました。
- 同性同士で話し合い、意見交換ができる時間があればよかったと思う。
- 正直、毎回町(村)内会のノリみたいでおもしろくはないかな?という印象は内緒ですがずっと思ってます。本来はもっと巨視的話し合いじゃなかったの?(消防の話とか)大事かもしれないがあまりに小さいローカルな話してつままないな、と。ローカルな地域で創業したりしてる実業家さんの展望とか、交流会、ワークショップ(NTT西)がやってるみたいな多発型イベントスペース(QUINTBRIDGE みたいな)を想像してたりしたいんだけどなあ・・・(ヨロシク!)
- 自治会やこども会など順番に当番や役を担当することで、かろうじて住民同士が顔を合わせたりつながっている現状があります。それにかわる、新しい住民同士がつながる方法や場をさぐっていく時にきているんだなと、皆さんの意見を聞いて感じました。
- 皆で話し合った思いが仲川市長の心に届きますようにと願っております。